

特集

物流を支える道路ネットワーク

平成28年3月、「世界の北海道」をキャッチフレーズとした新しい「北海道総合開発計画」が閣議決定され約2年が経過した。計画では、北海道の強みである「食」と「観光」を戦略的産業として位置付け、食と観光を担う「生産空間」を支えていくこととされている。日本の食料供給基地として北海道の生産空間が持続的発展を続けていく上で、生産地から消費地へ安定的に食料を運ぶ「物流」の重要性はより一層増している。

本特集では、「物流を支える道路ネットワーク」をテーマとして、はじめに札幌大谷大学社会学部 教授 平岡祥孝氏より、北海道の経済的安定を図るうえで必要となる物流の視点から、高規格幹線道路の整備効果について基調レポートとしてご寄稿いただいた。

次に、全道で展開されている宅配事業と移動販売を支える道路ネットワークの重要性について、コープさっぽろにお話を伺った。そして、産地型物流拠点と道路ネットワークの将来について横浜冷凍にお話を伺った。さらに、北海道におけるこれからの物流のカタチとして道の駅を活用した共同集荷・共同配送を提案する、北海道物流開発にお話を伺った。

生活や経済活動において欠くことのできない物流に対し、道路ネットワークが果たしている役割と重要性を再認識するきっかけとなれば幸いである。

基調レポート

生産空間を支える高規格幹線道路ネットワーク

札幌大谷大学社会学部 教授 平岡 祥孝 氏

インタビュー

インタビュー1

宅配事業と移動販売を支える道路ネットワーク

生活協同組合コープさっぽろ 宅配事業本部 管理部 部長 横田 成史 氏
生活協同組合コープさっぽろ 移動販売車事業部 部長 工藤 馨 氏

インタビュー2

産地型物流拠点と道路ネットワークのこれから

横浜冷凍株式会社 十勝物流センター 所長 塩澤 輝明 氏

インタビュー3

北海道におけるこれからの物流のカタチ

北海道物流開発株式会社 代表取締役会長 斉藤 博之 氏

